

# 風物詩

## やすらぎを求めて ～大津川河川公園と生物たち～

本町と泉大津市との間を流れる大津川は、大阪府が管理する二級河川です。槇尾川と牛滝川が合流する本町馬瀬区域から大津川となって大阪湾まで延び、その距離は約2.6kmに及びます。

平成9年に整備した大津川河川公園は「うるおいとやすらぎの川路」をテーマに、上流から“ふれあいゾーン”、“であいゾーン”、“つどいゾーン”、“にぎやかゾーン”、“いざないゾーン”の5つのゾーンに分かれ、スポーツや散策、親水広場として、幼児から高齢者までの方々が“水”と親しみながら、憩い、集い、交流を図ることができる施設になっています。



このような河川公園で静かな川面をじっくり見てみると、連続する小さな気泡が浮かんできたり、広がっていく水紋が確認できたりと、水生生物の息吹をあちらこちらで感じることができます。また、河川敷には水鳥がたわむれ、水中のエサを探すかのように頭からすっぽり潜っては嘴を噛み合わせる様子から、藻以外の水生生物も食しているように思われます。冬季には、多くの鴨も飛来し、冬の訪れを感じさせてくれます。

水中にはどのような生物がいるのかと思い、よく観察してみると、オイカワ、ヨシノボリなどの魚がいることが分かってきました。

これまで、河川敷を訪れた方々にもあまり知られていないこれらの魚たちを見ていただくため、また、

大津川流域の環境保全を推進していくため、これらの生物を入れた水槽を町役場の1階フロアに設置しています。来庁する子ども達が水槽の前で足を止め、のどかに泳ぐ魚を熱心に覗き込む姿も少しずつ増えてきています。



冬の河川公園では、1月に忠岡町消防署による出初め式を、3月に住民参加のマラソン大会を開催します。一斉放水の飛沫が冬の陽に照らされ虹のように見える瞬間や、ゴールを目指す真っ白な吐息が河川公園に溢れる景色は、小さい町に湧き上がる感動の1ページです。



### ● お問い合わせ先 ●

忠岡町町長公室企画財政課

TEL : 0725-22-1122 (内線123)